

編集後記

第7号の刊行が大幅に遅れたこと、早くから原稿を寄せていただいた方々にお詫びします。論文四篇に余滴二篇を掲載することができました。足元を洗う大学改編の波によって、教員も多忙になっています。それでも何とか一年一回の定期刊行のペースは堅持していきたいと考えています。小さな学会ですが、研究と発表の場として果たす役割は、決して小さくはないと思っています。会員の方々には、奮って原稿を寄せていただくこと、改めてお願い致します。

(小)

東海学園 言語・文学・文化

第七号 (通巻第六十六号)

平成二十年 三月二十日 印刷
平成二十年 三月三十日 発行 非売品

編集 名古屋市中平二丁目九〇一番地
発行 東海学園大学日本文化学会

代表 小林 幸夫

電話 (五三)八〇一―二二〇一
振替 〇〇八三〇―五―二九三二二

印刷所 豊橋市下地町字宮腰二四

(有) イシグロ 高速印刷